

2. 事業の概要と成果

(1) 上位目標	情報伝達システムの整備を通じた、南部デルタ地帯における地域住民の生活環境改善																									
(2) 事業内容	日本NGO連携無償資金協力贈与契約後、(a)本事業キックオフ会議の開催、(b)新規CAシステムの設置50村落の基本設計、及び既存CAシステムのモニタリングの実施、(c)ソーラー発電システムと既存CAシステムを接続しての実証実験の実施、(d)以上の結果に基づく資機材の仕様の決定、調達を終了し、(e)2月14日よりCAシステムの施工業務を開始した。 主な事業実施結果は以下のとおりである。 (1) 新規CAシステムの基本設計、及び既存CAシステムのモニタリングの結果、事業地及び事業地数の変更 ボガレイ郡：54村落、ピアポン郡：38村落、ヤンゴン市外郡区：6村落の計98村落について、2013年10月30日から12月19日までに上記作業を実施した。 当初予定では、ボガレイ郡、ピアポン郡の92村落の予定であったが、ヤンゴン市外郡区内の村落においてソーラー発電システムとCAシステムを接続しての実証実験を行うことが望ましいとの判断から、ヤンゴン市外郡区既存CAシステム6村落のモニタリングも実施した。 当該地域は2008年に11月に試験的にCAシステムを設置した地域であり、設備が老朽化し、かつ地元の要望も強いことから、当該地域の改良工事を本年度に切り上げ実施することとした。なお、4村落でCAシステムの保守・運用上の問題があり、設置を取り止めることとした。 ・以上の結果、CAシステム新設・改良事業は申請時のボガレイ郡、ピアポン郡に加え、ヤンゴン市外郡区を追加し、事業地数は92村落を94村落に変更した（参考1参照）。 （参考1） <table><tr><td>事業地（郡）</td><td>新規 CA 村落</td><td>既存 CA 村落</td><td>事業中止村落</td><td>事業地</td></tr><tr><td>ボガレイ</td><td>30</td><td>24</td><td>2</td><td>52</td></tr><tr><td>ピアポン</td><td>20</td><td>18</td><td>1</td><td>37</td></tr><tr><td>ヤンゴン</td><td>—</td><td>6</td><td>1</td><td>5</td></tr><tr><td>計</td><td>50</td><td>48</td><td>4</td><td>94</td></tr></table> （注）既存CAシステム設置村落モニタリングの結果、CAシステムの保守・運用上問題があり、提携団体のUMFCCI（ミャンマー商工会議所）と協議の結果、CAシステム設置支援を中止することとした。	事業地（郡）	新規 CA 村落	既存 CA 村落	事業中止村落	事業地	ボガレイ	30	24	2	52	ピアポン	20	18	1	37	ヤンゴン	—	6	1	5	計	50	48	4	94
事業地（郡）	新規 CA 村落	既存 CA 村落	事業中止村落	事業地																						
ボガレイ	30	24	2	52																						
ピアポン	20	18	1	37																						
ヤンゴン	—	6	1	5																						
計	50	48	4	94																						

(2) 商用電源の利用可能村落数、及び確認できた事項

申請段階で事業地の村落では商用電源は利用できないと想定していたが、上記基本設計及びモニタリングの結果、19村落で利用可能であることがわかった(参考2参照)。

また、CAシステムのスピーカーの設置個数は一箇所当たり4個設置の予定が3.1個であった事等から、約80万円の費用が浮き、それを同一項目(資機材購入費等)内で有効図ることとした(参考3参照)。

(参考2) 商用電源の利用可能村落(CAシステム設置建造物)

事業地(郡)	CAシステムの 新規・既存別	商用電源利用可能 (村落数)
ボガレイ	新規	0
	既存	6
ピアボン	新規	3
	既存	7
ヤンゴン	既存	3

(参考3) ソーラー発電システムのCAシステム実証実験、及びモニタリングの結果確認できたこと

- ① 既存CAシステムのバッテリー交換：バッテリー容量を現行75Ahから90Ahへの変更。
- ② ラジオの不良、マイクの不良等一部不良機器の取替。
- ③ CAシステムの設置台の一部(ヤンゴン市外郡区の5村落)の取替。

(3) 達成された効果	本事業の作業は以下の主要4工程である。 ・新規C Aシステムの基本設計・既設システムのモニタリング及びソーラー発電システムの実証実験の実施 ・基本設計、モニタリング結果の分析・所要機材の調達 ・C Aシステムの新設工事及び改良工事 ・ワークショップの実施 これまでに達成された成果は、以下のとおりである。 ① 新規C Aシステム設置50村落の基本設計及び既存C Aシステム48村落のモニタリングの終了。 ② ソーラー発電システムのC Aシステムの実証実験の終了。 ③ 実施結果データの分析・検討、及び調達資機材の仕様等の決定・所要資機材の調達（ボガレイ郡52村落用） ④ 「C Aシステムの保守・運営マニュアル」（英文版、及びミャンマー語版）、同マニュアル簡易版（ミャンマー語版）の作成、及び「ワークショップ実施マニュアル」（英文 Draft）作成。
(4) 今後の見通し	今後の事業見通し 1、C Aシステムの新設・改良工事の実施：2月14日～5月末 2、ワークショップの実施：6月～7月中旬 3、竣工検査・経理関係事務処理チェック等：7月中旬 4、第2年次事業実施：2014年8月中旬～2015年2月中旬